

BIA 社団法人日本ブライダル事業振興協会

日本ブライダル事業振興協会（BIA、東京都港区芝2-3-12芝アピタシオンビル9階）が8月3日から20日まで開講する「ブライダルコーディネーター養成講座」受講募集の締め切りが間もなく近づいてきた。受講を希望する方はBIA事務局までお電話またはメールを。

韓国視察で友好団体と交流
現地のウエディングを体験

▶韓国を訪問したBIA会員



挙式会場
食事と演出が分離する
で友人の余興

BIAでは6月18日から20日までの3日間、勝俣伸BIA副会長を団長として、任意参加の8名が韓国を訪問した。

韓国では、BIAの友好団体である社団法人韓国WEDDING産業振興協会（KOWA）との意見交換会を行い、懇親を深めた。また、ソウル市内の結婚式場へ行き、実際の結婚式を視察した。滞在中の段取りはKOWA副会長・呉泰錫氏が手配した。

BIAメンバーが視察した結婚式場は、数100人を収容するウエディングチャペルを備えており、当日も約500人の列席者が、会場中央に設けられた通路の両側から新郎新婦を見守った。

挙式は両親の入場に続いて、新郎新婦入場。牧師による20分間の説教、指輪の交換、誓いの言葉と続いた後、友人たちによる歌や楽器演奏などの余興が行われた。現地関係者によれば、挙式時間は1時間半から2時間を要するという。

また、挙式会場とは別に食事会場が設けられ、バイキング形式の料理を列席者向けにふるまう。挙式会場と食事会場の行き来は自由にできる。日本の披露宴演出が挙式に持ち込まれ、食事だけが別会場で提供される、というのが韓国の一般的な婚礼スタイルだという。費用は1人あたり4000円～5000円程度になる。

意見交換会には、KOWA会員の現地ブライダル企業が参加。日本の婚礼スタイルやしきたりについての質問が相次いだ。韓国には以上のような事情から、ブライダルコーディネーター・ウエディングプランナーに相当する役割がこれま

では必要なかったが、韓国でもオリジナリティを求める声が高まっており、日本や欧米の婚礼スタイルに高い関心を示していた。その後の懇親会には150名が参加し、和やかな交流がなされた。